

第8回 向陽学府小中一体校開校準備委員会 会議概要

1	開催日時	令和5年11月20日(月)
2	開催場所	磐田市役所西庁舎3階 301~303 会議室
3	出席者(向陽学府小中一体校開校準備委員)	
	学識経験者	元校長 前向笠地区長
	地区代表	大藤地区長 向笠地区長 岩田地区長
	保護者代表	向陽中学校PTA代表 大藤小学校PTA代表 向笠小学校PTA代表 岩田小学校PTA代表 大藤こども園PTA代表 向笠幼稚園PTA代表 岩田こども園保護者代表
	学校代表	向陽中学校長 大藤小学校長 向笠小学校長 岩田小学校長
4	出席職員	教育長 教育総務課長
5	事務局	学府一体校推進室

会議概要

1 教育長挨拶

お忙しい中またお疲れの中、御出席いただきまして、ありがとうございます。

つい最近まで、暑い暑いという言葉が、身の回りで聞かれた時が、何かうそのように一気に冷え込んできて、今ここでも言ってたんですけど、学校の体育館とか、子供たち、寒いんだろうなあって思いながら、本当に一気に冬が近づいてきた、冬になってというふうな時期になりました。学校においては、インフルエンザが、10月中旬ぐらいからでしたか、猛威を振るって、向陽学府の小中学校でも、少し学級閉鎖等々あった時期もありました。今は少し落ちついてきているという状況です。各学校、学校行事のほうは、いろいろ御苦労されたと思いますけども、少し延期したところとか、調整したところもあったかもしれませんが、ほぼほぼ行事が出来たというところで、子供たちにとっては、以前に比べれば、いい環境になって来ているかなというふうに感じておるところです。ただ、インフルエンザって本当は、もっとこれから流行してくる時期になってくるものです。そ

れから、新型コロナウイルスについても、予断を許さないところもありますので、引き続き子供たちの健康状態のほうには十分配慮していきたいと思っていますところ です。

今年 は 小 学 校 開 校 150 周 年 と い う、い ろ ん な 新 聞 と か、い ろ ん な と こ ろ で 目 に す る こ と が 多 い か な と 思 い ま す。近 代 教 育 の 方 向 性 を 示 し た 学 制 が 発 布 さ れ た の が 明 治 5 年 で す の で、明 治 6 年 に 開 校 さ れ た と こ ろ が 多 い。向 陽 学 府 の 中 で も、向 笠 小 学 校、そ れ か ら、岩 田 小 学 校 が、150 周 年 を 迎 え て い る。大 藤 小 学 校 は 131 年 で す か ね、本 当 に 長 い 歴 史 を 刻 ま れ て き て い る 学 校。開 校 当 時 は、子 供 た ち の 教 育 の 場 を 何 と か し た い と い う 思 い の 中 で、き っ と い ろ ん な 地 域 の 皆 様 方 の 思 い と い う ん で す か、夢 と い う ん で す か、希 望 と い う ん で す か ね、そ う い っ た 思 い の 中 で、学 校 が ス タ ー ト し た ん だ ろ う な と 推 察 さ れ ま す。そ の 後、い ろ ん な 時 代 の 変 化 と と も に、学 校 の 在 り 方 と い う の は 変 わ っ て き て い る と 思 い ま す け ど も、今、そ れ ぞ れ の 小 学 校、中 学 校 も そ う で す け ど、す ば ら し い 教 育 活 動 が 営 ま れ て い ま す。そ れ は 当 た り 前 の こ と で す け ど も、そ れ ぞ れ の 学 校 を 卒 業 さ れ た、皆 さ ん、当 時 の 子 供 た ち か ら 教 育 に 携 わ ら れ た 先 生 方、そ し て、地 域 の 皆 様 方、も ち ろ ん 保 護 者 の 皆 様 方、そ ん な、子 供 た ち に 関 わ る 皆 様 方 の 御 尽 力 に よ っ て、そ う い っ た 教 育 活 動 が 築 か れ、そ し て、今 ま で 引 き 継 が れ て き て い る。今 の 子 供 た ち の 姿 と い う の は、150 年、131 年 の 歴 史 を 積 み 上 げ て き た 賜 物 だ な と い う と こ ろ を 改 め て 感 じ て い る と こ ろ で す。本 当 に 教 育 っ て 尊 い な っ て い う と こ ろ を 感 じ て い る わ け で す け ど も、そ れ が 2 年 後 に は、そ れ ぞ れ の 小 学 校 の 幕 が 閉 じ ら れ て、令 和 8 年 4 月 に、新 た な 学 校 が ス タ ー ト す る。そ う い っ た こ と を 考 え た と き に、本 当 に 先 輩 諸 氏 と い う の で す か、先 人 の 皆 様 方 に は 本 当 に 感 謝 の 気 持 ち で い っ ぱ い で す し、ま た、私 た ち が こ れ か ら、そ の 先 輩、先 人 の 皆 様 方 の 思 い を 引 継 ぎ な が ら、い わ ゆ る 向 陽 学 府 一 体 校 を、ど ん な ふ う に ス タ ー ト さ せ て い く の か、ど ん な 学 校 を つ く っ て い く の か っ て い う と こ ろ は、本 当 に 私 た ち の 責 任 で あ る と 同 時 に、皆 さ ん の 知 恵 を い た だ き な が ら、皆 さ ん の 力 を お 借 り し な が ら、す ば ら し い 学 校 を 創 造 し て い か な く て は い け ない と い う と こ ろ を、改 め て 感 じ て い る と こ ろ で す。こ の 会 も、そ う い う 方 向 性 を と い う と こ ろ で、ぜ ひ、い ろ ん な 立 場 か ら 御 意 見 を い た だ け た ら な と 思 い ま す。

今 日 に つ い て は、校 名 案 の 要 望 書、そ れ か ら、校 歌・校 章 の 今 後 の 進 め 方 に つ い て 御 協 議 い た だ く と と も に、時 間 が あ れ ば、通 学 路 に つ い て の 意 見 交 換 が で き れ ば と い う ふ う に 考 え て い ま す。先 行 工 事 の ほう も 順 調 に 進 ん で お り ま す の で、年 明 け に は、仮 設 校 舎 の ほう へ 教 育 の 場 が 移 っ て、そ ち ら の ほう で 教 育 活 動 が 進 め ら れ て い く と い う よ う な 予 定 と な っ て い ま す こ と を 申 し 添 え た い と 思 い ま す。本 日 は ど う ぞ よ ろ し く お 願 い い た し ま す。

2 議事

(委員長)

お集まりいただきましてありがとうございます。

既に6年、向陽学府の小中一体校のことが、時間の経過をたどって、現在に至るわけですが、先の説明会で、いろいろと聞く中で、なかなかまだ思うような理解とか、周

知がされていない部分もあるなというような、そんな気持ちを持ったものですから、勝手ながら、6年間、あるいはあと2年余り後の開校までの予定も含めまして、ちょっと経緯等につきまして、保護者の皆さんに、小中そんな資料をつけて、今日、お子さんたちが御家庭に持ち帰っていると思いますので、確認をしていただきたいと思いますし、あと幼保、こども園のほうにつきましても、園長さんのほうに、配布をお願いしたいというような依頼が行っていると思うので、分けられるのではないかなと、そんな感じしております。

それでは、今日三つあるんですけども、特に保護者の方々って通学路のほう、すごい関心があったりするんじゃないかと思うものですから、時間があれば、そっちのほうもちょっと、検討相談をする時間を設けていただきますので、1番目、2番目の検討事項につきましては、要領よく、進められたらいいなと思っておりますが、皆さんの御意見を別にそれで遮断するわけじゃありませんので、お気づきの点は色々と言っていたきたいと思えます。ということで、校名案の要望書、開校準備だよりのことについてですが、事務局から御説明をお願いしたいと思えます。

(事務局)

それでは、本日の協議内容について説明をさせていただきます。

資料1を御覧ください。まず初めに、向陽学府小中一体校の新しい小学校の校名に関する要望書について、要望書の内容、様式等について、検討のほうお願いします。要望書案をつけさせていただきましたので、そちらもあわせて御覧ください。向陽学府の新時代の新たな学校づくり推進のための要望書が提出されてからの検討会等の流れを記載させていただき、校名に関しての検討を経て、アンケートをとり、開校準備委員会として、磐田市立向陽小学校を校名にすることを要望する形となっています。また、開校準備委員会としての校名案決定について、開校準備だよりを通して、地域にお知らせをしたいと考えています。準備だよりの案1、案2になるんですけども、アンケート結果の掲載方法について御意見を伺いたいと思えます。案1は、地域のみアンケート結果に、グラフをつけない形で、児童生徒の意見を掲載したものです。案2は、地域のアンケート結果と児童生徒のアンケート結果をそれぞれのグラフを掲載したものになっています。こちらのお知らせの仕方について、このどちらかが、もしくはもっといい方法があれば、御意見を伺いたいと思えます。

次に、校歌・校章の今後の進め方についてです。方向性は前回で確認出来ましたが、今後の流れについて検討をお願いします。新小学校の校歌は、向陽中の校歌を歌うこととなりますが、児童生徒の周知方法や、このことに関して、児童生徒から意見収集を行うのか。また、地域への報告はするのかと、御意見を伺いたいと思えます。新小学校の校章は、向陽中の校章に少し手を加えて、デザイン変更し、小中共通のものを使用することとなりますが、児童生徒への周知方法、このことに関して、児童生徒から意見収集を行うのか。また、地域への報告はするのかと、御意見をいただきたいと思えます。また、デザイン変更することによって、小中学校の校章が変わることとなりますが、それがどんなところに影

響があるのかについて、御意見を伺いたいと思います。

本日の議事の最後に、通学路についての意見交換を入れさせていただきました。現在、大藤小と向笠小については、保護者の皆さんに、通学路を検討していただいているところです。ただ、現在使用している通学路を通して、一体校に通学する箇所も多いと想定されることから、現在の通学路での危険個所や道路整備等が必要な個所、について御意見を伺いたいと思っています。ただしこれについては、校歌・校章の検討が7時25分までに終わらなかった場合については、次回の会に持ち越したいというふうに思っています。

(委員長)

一括して説明ありがとうございました。それではまず、協議事項の一つ。校名の要望書の教育委員会への様式ですか、要望の内容と、あと、回覧、回報する便りの内容についてですね。いかがなものかということで、資料がありますので、御意見をいただきたいと思っています。ここの意思を行政側に、要望書という形で伝えることによって、教育委員会が動き出すと、校名を決めるための諸手続きを。非常に大事なことだと思います。教育委員会の中で、例規審査、検討等を行いまして、2月議会へ出して、法律上、校名が決定していくと、こういうことになります。

(委員)

事務局のほうで、案1と案2の、何かそこら辺の意向っていうか、そういう意図が、どういうことか教えてください。

(事務局)

大きな違いは、それぞれの裏面の開校準備委員会としての校名案は向陽に決定のところの、アンケート結果は以下の通りのところです。案1のほうは、地域住民集計結果のグラフを載せてあって、さらにその右下に、児童生徒の集計結果でも、64%と多数を占めましたという文言を入れさせていただいたのが、案1となります。それに対して案2のほうは、児童生徒の集計結果も、1・2・3の意見を全部数値にしたものが、それに当たります。その示し方について、どちらがいいかっていうところだけなんですけども、案1のほうは、アンケートの総件数が入っていたりとか、案2についてはそれがなくて、本当に数字だけで、回収した数字だけを載せてあるといったようなものです。地域の皆様に知らせるに当たって、見やすいというか、向陽小に決定したんだって理解しやすいのはどちらかというところで、皆さんの御意見を伺いたいと思います。

(委員)

以前の準備だよりも、小学生、児童生徒にも、聞いてみますよっていうような文言が、あったとするならば、児童生徒にも、しっかり聞いたんだなっていう表現が出てるほうが、私はいいかなど。しっかり聞いたんだよってことが。そんな私の感想というか意見です。

(委員)

図が見にくいんで、ちょっと直してほしいなと思って。グラフに字がかぶってる。これ両方とも同じことを言ってるんで、グラフの下に下段として、枠みたいのを小さくてもい

いので、入れることは出来ませんか、整理して。円グラフをぱっと見たときに、みんな賛成してるんだってという形で、見やすいんじゃないかなと思って。数字をグラフに重ねるのは別に構わないんですけども、字をその上に重ねるのはいかがなものかな。案1のほうの四角い枠に入ってるのを、下の方の枠に作って、ちょっと狭くなりますけど、ちょっと整理が出来ないかなとちょっと感じました。

(委員長)

グラフをもうちょっと工夫してほしい。要は児童生徒のグラフを載せるか載せないか。せっかく同じアンケートやったんですから、子供たちのアンケート結果もきちんと載せるということよろしいですか。そのときに4年生からかって、1～3年生、私らやってないってなっちゃうんでね。4年生から中学3年生、そういう、誤解されないような細かなとこの配慮もね、それとあとグラフをもうちょっと見やすくきれいにしてもらったり、工夫してください。内容的にはどうですか。要望書の文面も含めて、細かなところは、教育委員会のほうにお任せして、内容について特にあれこれなければ、校名案についてはこれで。

(委員)

これは、地域世帯集計と児童集計、合算で出すと、多分74%ぐらいになるんですけど。地域世帯で82%、グラフ的になるとすごく大多数だっていう感じなんですけど、74%だと、ちょっと弱いんですかね。視覚的に見ると、1の案の方が、すごくこうパッと、大多数が賛成されたんだなという、すごく見やすくて。僕は1の方がいいかなと思ったんですが。合算すると74%、若干このグラフが賛成のところ、「向陽小がよい」が少し減ってしまって、弱くなってしまうのがどうなのかなというところなんですけど。

(委員長)

世帯と個人、児童・生徒の個人、ちょっと一緒には出来ないんじゃないですかね。個人と世帯ですから。やっぱり載せるのは別々か、片方1個だけ。一緒にしちゃうと、混ぜこぜになってしまう。コメントをちょっと、なぜ25%も「分からない、どちらでもよい」なのか。ちょっと推測になるかもしれませんが、こういう意見が多数あったと、判断出来ないとか、ちょっと言い方が難しいかな。でも圧倒的に多数を占めています。半数以上は。これはやっぱり校名案を決める際に大きなインパクトを与えたいと思います。

(委員)

せっかく子供たちに聞いてみたのだから、1回そういうところからもご意見をということで。ちゃんと子供たちにも聞いたよということが大事かなと思います。以前の開校準備だよりも、子供たちにもちゃんと聞きますよとかね、そういうことがあるとしたら、ちゃんと載せてあげないと、回答としてね。

(委員長)

御意見ありましたけど、両方載せていくっていうことで行きたいと思いますが、よろしいですか。それでは、内容については、特に異論がないということで、検討1につきます

ては、事務局、それでよろしいでしょうか。

(事務局)

要望書案については、このままというか、ここに出されたもので、もう一度こちらでも確認しますけども、基本こちらのもの。それから、開校準備だよりのほうは、児童生徒も集計結果としてとったので、やはり知らせてあげたほうがいいのではないかと。ただし、3番「分からない、どちらでもよい、答えられない」が25%もいることから、そのところのコメントを少し入れたらどうかという御意見いただきましたので、ちょっとスペースの問題もあるもんですから、グラフがちょっと小さくなるのか。下のところをもうちょっと工夫して書くのか等やりながら、見て分かるようなものにしたいなというふうに思えます。ありがとうございました。

(委員長)

一つ要望書について、教育委員会のほうに提出をするんですが、そういう場を設けるんですか、正しい文書が出来たら。

(事務局)

こちら出来ましたら、最終的には委員長、また、教育長の日程を調整しまして、実際に教育長に要望書を手渡してもらおうというものをやりたいと思いますので、よろしく願います。

(委員長)

私も一緒に同席したいっていう方があれば、ほかの皆さん。それ知らせてください。何時いつやります。知らなきやいかんのでね。もういつの間にか出している、そうならないようにしてください。願います。

次に、2の校歌・校章について、さあどうしようかっていうことなんですが。いろいろ意見をいただければと思います。どっちからでもいいです、校歌でも校章でも。周知方法と、地域とか子供たちへのね。よく、ある程度案ができるとうちは、パブリックコメントだったか、こういうのを考えてますけど皆さんどうですかっていう、そんな感じをするかしらないかだね。一応こちらの意思を伝えて、それに対してやっぱりフィードバックも必要じゃないかなと、私は思うんですがね。はい決まりましたじゃねえ。

(委員)

校章を一つ手直ししてっていう、その案は、どんなもんでしたか。

(委員長)

まだデザイン決まってない。デザイン、それをどうするかっていうことです。

(委員)

これからですね。でもイメージがないと難しいかなと思ったんで。

(三浦委員長)

またこれも、全世帯と小中、幼稚園、保育園というかこども園、そちらのほうに、お知らせをする。校名案と同じような感じなのかな、やり方としては。やっぱりそうして、何

か御意見等あれば、言う機会を設けておかないとね。準備だよりで、委員会としては、こう結果が出たんですが、いかがでしょうか。この件について何か、御意見とかお考えとか、というお伺いを出す。次にデザインをどうしたらいいかなんですが、僕は子供たちにどうかなと思ったり、直感的な思いです。小中学生ね。子供たちのそういう発想というか、そういうのを大事にしていきたい。

(委員)

校歌の歌詞の内容はいいんですか。校舎の色とか、そういう意見も出てくると思います。

(委員長)

そういうのも、たよりに載せるだよ、歌詞をね。

そのときに、ただ、「校歌はこれにします」だけじゃちょっと言葉が足りないと思うんですよ。何で向陽中の校歌にするのっていう意味、意味付けっていうかね。いろいろこの中で、検討した結果、そうしようねっていう。その意味、理由をやっぱり、たよりに載せておかないと、当然だよ。

(委員)

子供たちが後押ししてくれるといいね、そういうの。だから子供たちに聞いてね、そういう意向を。ちょっと先生方どうですか。

(委員)

それはそうだよ。子供たちが〇と言ってくれば、親が何と言おうが子供たちだよ。

(委員長)

私達の気持ちというか、考えをどう伝え、うまく伝えるか、理解していただくか。下手な伝え方すると逆に、もっと新しいのがいいに決まってるじゃん。そういうのがあつたりすると、再検討せざるを得ない状況もあるかもしれない。やっぱり知らせるときには、いろいろと気を使う。

(委員)

とりあえず報告としては、この準備だよりで、こういうふうに決まりましたっていうので、決定事項だけを言うだけで、僕はいいと思います。一応、僕のほうも、PTA代表っていうことで来ておりますので、少なからず、親の代表っていうことで来ていますので、そもそも、そういう意見がある人っていうのは、例えば、PTAの役員に名乗り出てやっていただければいいのかなって思います。代表ということで来てますので、強気に言わしてもらおうと、ここで決定したのは、僕であればPTA代表総意ですよっていうところで、いいのかなというふうに思います。あんまり、ここで決まりました皆さんどうですかっていうと、多分終わらなくなると思うですよ。少なからず、ワーワー言う人はいると思いますけれども、これについてはもう決定、準備委員会というところで決定しましたよっていうところの報告だけで、いいような気がします。

(委員長)

余り余分な説明はしなくて、あっさりと。通学路やスクールバスに比べれば、関心度が

違いますからレベルがね。ありがとうございます。

だから皆様方もね、今日のこれを役員会とか定例会とか、自治会長会とかで。チラシ来るまで何も言わなかったじゃあ、もう小出しにしていくというか、会合あれば報告する。皆じゃなくなつて役員や関係者だけでも。そういうことが、組織団体の代表できている立場からすればお願いします。常に情報は、流していくというのが大事じゃないかなと思うんですね。ぜひお願いします。先生方にも。

(委員)

地域に周知するようにアピールするっていうのは非常に大切なことで、まず今、開校準備だよりの中で、校名がこうになりました。今まで皆さんにアンケートとった結果こうです、だからこうになりました。これはもちろん出さにかんから、出してもらって。そのあとの校章・校歌については、先ほど委員長が言われたように、ここでもう校歌一つだよってうたってるもんで、何で一つなんだっていうのも全部、一応開校準備だよりに書いてあるもんだから、以前作ってくれた、ああいう意味も含めて載せて、1回で済まなかったら、2回ぐらい、かわら版出してもいいんじゃないかなと思ってるんです、しつこいぐらい。情報を出しておいて、準備委員会の中で方向性とやり方を決めて、また皆さんにお伺いしますくらいを出しておいたほうが、最後、決定してからこうになりましたって出すとね、知らないうちに決まったっていうのをまず言うのと、いまだに驚いちゃうんだが、学校なくなっちゃうって、まだ言う人もいっぱいいてね。だから、これほど言って、まだ分かんないのかぐらいやったほうが、僕はいいんじゃないかなと思ってます。

最終的には、学校の子供たちを使って、デザインコンテストでこうなっていきましたっていうような方向でもいいと思います。まずは周知をぜひお願いしたい。

(委員長)

一度ならず複数回ね。それによって周知、理解を広めていく。そういうのがやり方なんで、意見聞いたりするのが。じゃどうする中学生にデザイン募集するかって、それはまた時間がかかっちゃうしね。取りあえずは皆さんに、たよりでお知らせする。それで、そういうふうにここで決めたなら、デザインはどうしたらいいかっていうような意見をいただいたりとか、その決めたことについてそのものの気持ちも聞いてもいいですしね。中にはその中ですばらしいのがあるかもしれない。反応を見ながら、手法をはっきりさせていきたい。すぐデザイン決めなきゃいけないことじゃないよね。

(委員)

あせらなくてもいいと思いますね。

(委員長)

まずは、広報していくということで。先の具体的なのはもうちょっと先でいいかな。今日、そのぐらいでいいですか、事務局。

(事務局)

1点、校章デザイン変更することは確実だと思うんですが、それに伴って、学校として

その影響が出るところがあると思うので、その辺りを最初に教えていただければと思います。

(委員)

簡単に言うと、校旗。あと、体育館の緞帳の1番真ん中に校章が入っているのでその校章。あとは、国旗と並んで旗のやつも一応ある。卒業式・入学式で飾るやつは、あれ結構高額なものだと聞いてますけど。今、校章はそんなところです。

(委員長)

他には印刷物ね。私、福田中学にいた時に、50周年があったんですが。そのときには、校旗を、ある業者さんから京都の西陣のでやったんですが、100万円ぐらい掛かった。予算要求が必要。校旗のようなシンボリックな物はやっぱり学校には必要ですのでね。それを民間とか地域に委ねられると、えってなっちゃう。ちなみにその福田のときには途中で変えたってということで、同窓会がお金を出した。学校を変えたいという意識はなくて、同窓会が変えたいと言って。それはただし、お金もねということで。今回は事情が違いますので。学校をつくる、新設学校。一つの校章に変わっちゃうんでね。

(事務局)

あと自分がちょっと気になってるのが、中学校の自転車のステッカー。それから、生徒の背負ってるバック。一中のを見たら校章が入ってたんで、向陽はどうかなっていうところとか。あともうないと思うんですが、制服につけるバッジとか。生徒手帳なんかには特にないとのことだったので、いいと思うんですが、そういったもろもろ、先ほど、委員長がおっしゃったような印刷物というか、そういったもので、もしいろいろ毎年変わってるようなものがあつたりとか、配布してるものがあれば、また教えていただきたいなというふうに思います。結局、校章が変わると、業者さんも困ってしまうと思うので、早め早めに伝えていかないといけないかなというふうに思っています。変わることがもう前提であるとするなら、令和8年から変わります。もし在庫があるならその在庫処分、処分というか、終わった後に新しいもの作ってくださいねっていうようなことは伝えていかないといけないかなと思っているので、もし影響があるところがあれば、あと小学校の名札ですかね、あともしあれば教えてください。

(委員)

多分バックには入ってないと思うんですけど、記憶にない。

(委員)

小学校の体操服とかって、校章が入ってますけど。今、在校生たちが新しい学校になって、校章変わったときって、当然そのまま、在校してる間は、移行期間として使わせてはもらえらると思うんですけど、その辺って今決定事項なのか。保護者からするとその辺が1番気になってるんです。じゃあ、サイズアウトして、今このタイミングで、大きいサイズ買っていいのかとか、多分その辺をすごい気にしてると思うんで、そのお知らせを出すときに、まず、そういうところの不安がなくなるような、ちょっと、載せてもらえたほうが

いいかなと思います。

(委員長)

学校のほうで、制服・体育衣料等の検討を進めてはいらっしゃるんですね。PTAがそこに絡んでいるのかいないのか知りませんが。衣料組合なんか、1年半は絶対に必要ですね。決定してから1年半は、そういう協定のようなものが、議会答弁、昭和50年代ぐらいかな、昭和、平成になってからもありますよね。度々それ向こうは商売がありますので、突然やられると大変、損害賠償も来ますので。多分1年半ぐらいですね。2年、2年ぐらいだそうなので、そろそろ早く決めて行かないとね。

(委員)

校服・体操服の決定に関して、タイムスケジュールを見ると。我々は除外されてますよね。そうすると、もう現状で、各学校含めて校長先生方に、PTAに、少しずつアナウンスしていかないと、今言われた、大きいのが買っていいのか、せつかくあるやつどうするんだろうとかね、あると思うんですよ。その辺の基本的な流れはここで話しできると思うんですけど、どうでしょうか。

(委員)

制服のほうは、今、市のほうでも、磐田市の制服のあり方ということ、小学生とか中学生とか、保護者にもアンケートとってます。今後、様子が少し分かってくるかなと思います。体育衣料については、小学校と中学校そろえていくといいかなという話には、校長同志としてはなっていますが、デザイン等は、基本的に、中学校の体育教師とか、生徒指導とか、校長も含めて、決めていくところで、大きな今変更するつもりはないんですけど、さっき、心配されてる猶予期間というか、移行期間というのは、設けるつもりで当然いきますし、買ったものを使っちゃ駄目だよってことをするつもりは、新しくなったとしてもないと思いますので、今、体育なんかやってて、やっぱ夏場とかすごい汗をかくので、体育の体操服でもやってますし、基本は何ていうんすかね泥だらけになっちゃうんで、部活のユニフォームっていうかも、もう本当にばらばらですけど、それを認めてる感じでやってますので、全部そろえてっていうのがスタート時、なかなか難しいのも、正直なことだと思いますので。そこら辺はまたどっかでアナウンス出来たらなっていうふうには思っています。

(委員長)

通学路につきましては、次回に回すというような形をとらざるを得ない時間になっちゃったんですが、校歌・校章のことで、非常に細かいところにまで、皆さんお気づきの点があるものですから、出す物はみんな吐き出していきなさい。また、皆さんに開校準備日より、これにつきましては中身がある程度、事務局のほうで出来ましたら、委員のほうに、こんなふうにして出したいと思いますが、これに意見を言って、ばら撒くと。こんな形で行ったらいいかなと思うんですが。いろんなところに影響、校歌・校章、あるなどということですよ。

(委員)

今現状、小学生は、制服というのはどうなっているのか。小学生の通学の服装というのは、私服ですよ。

(委員)

岩田小だけは制服があって、次年度の、新1年生からはなしにしました。

(委員)

小学生はなしでっていう話になってくるんですか。中学生は、今、制服があるですよ。

(委員)

それを決めるんですよ。令和8年まで、もう変わるということの大前提に。今おっしゃったのは、来年度からなしっていう岩田小の話だけで、向陽小について、校服どうするかというのはこれから。

(委員長)

まだ、保護者さんに言ってないでしょ。2年半後の制服・校服については。

(委員)

それはPTAの方と学校で話し合いをすることですよ。

(委員)

今の社会的な流れからいくと、小学校はフリーだよ。基本的にはそういう流れに行ってるよね。中学は大体、制服になってて、男女どちらでも着れるような、ジェンダーレスなものになっていくのかな。それはまだ先の話かもしれないけど、どうせやってやるんだったらそこら辺もある程度踏まえてやっていかないと、また変わった、また変わったでは保護者大変なことになっちゃうんで、それはやっぱり将来を見据えた上で、PTAさんと学校さんでね、今度の8年がスタートじゃないんでそこで何とかしろじゃなくて、もうちょっと先を見据えた上で全体でそれまでは、従来のやつでいいですよっていう形にしても、少し先延ばしっていうわけじゃないけど、タイムスケジュールをきれいにとってもらって、ここら辺が着地のタイミングじゃないかというところで、そういったものを含めてね、制服考えてやったら、子供たち喜ぶんじゃないかなと思います。思いだけです。ごめんなさい。

(委員)

制服に関わる場所と体育衣料のところで、校章の話なんですけど、岩田小の制服を次年度新入生から買わないっていうことです。それに伴って、他の学年のこれらについても自由化っていうことで、制服着てもいいし、私服でもいいよっていう流れを今整えてるところです。つまり、新しいこの向陽小が、岩田小の制服は着ないということが明らかなので、そういう対応をしています。そこで、スケジュールを、以前の資料の中のスケジュール表で見ますと、体育衣料に関しては学校、制服はPTAが主体となって検討するというところで、こういった話を進めているとは思いますが、一つは、今出た、新しい向陽小についての服装についても、ある程度結論を出していかなければいけないと思うんですよ。ど

ここまでどう誰が言うのか、どうやって周知するのかっていうことも含めて。そして、体操服ですよ。体操服は向陽中のものに寄せていくんですが、業者に発注して、しばらくは3小のが入り乱れてもいいとは思いますが、新向陽小の制服は体操服はいつから買えるんだということを明らかにして、業者のほうにも準備しなきゃいけないんですね。例えば令和7年の9月から買えるとか、新しく買いたい人は、新しい向陽小の買ってねとするのか。新向陽小の体操服は、令和8年になるまで買えないよとか、そういった周知もしなければいけないと思うので、体操服に校章を入れるのであれば、それを販売する時期も、ちょっと先読みしていかないといけないかなというふうに、保護者の方々が心配されていることを、総括すると、そんなふうに思いましたので、校章を体操服に入れないというふうにすれば、どんどんやっていけばいいとは思いますが、校名だけ入れるとかっていうようなことでしたらいいんですけど、万が一校章をやっぱり入れていくっていうデザインのことも含めていくなれば、なるべく早め早めにやってたほうがいいかなとは思いました。先ほど校旗についても、校旗をつくるにしても、結構時間がかかります。それを中学校用と小学校用つくるのかとか、いろんな面で、時間がかかることで、校旗のデザインはとか、色はとか、ヒラヒラしたものはどうするのか、いろいろ校旗つくる中でも、決め事っていうのはわりかしあるもんですから、早め早めに進めたほうがいいかなっていうことを思いました。

(委員長)

先を見越しながら早めに。それと、そうやって検討したことを、関係者に情報を流す。これが大事。

(委員)

当然PTAと学校でやるんで、それはもう中心はそっちですね。そうすると、向陽中に皆さんが行って、3校一緒にやらないかんよね、校服。

(委員)

今、こちらのほうは常に校長同士では話はしてるので。

(委員)

PTAとの話は。

(委員)

PTAとの話も基本的には校長さんらとPの話は、それぞれにしてもらってはいるので、それぞれでやって校長同志でまとめるということです。

(委員長)

制服っていうのは中学、多分あるんじゃないかなと思いますが。これやっぱりまた磐田市の新しい一体校をやるときの先陣を切るような感じなので、ただ、向陽の制服っていうんじゃないくて、磐田市の中学校のっていうのも、どっかに置きながらやっていかなきゃいかん。というようなところあるんじゃないかなと思います。「ながふじ」とは違う。

(委員)

「ながふじ」のときはどんな感じだったんですか。

(委員)

建物だけきれいに建て直して、中学はそのまんま、豊田北部小学校がそのままその中に入っただけ。だから着てるものも全部そのままいける。ここは、一つ新たにつくった上に入っていくもんで、次の地区のことを考えると、ここがいわゆる一体校のモデル地域なんですよ。3校の小学校が1つの新しい小学校になって、それが中学の中に入って行って、それで一つの建物になってるし、通学路もすごい距離じゃないですか。「ながふじ」は、豊田北部小学校からがあそこまで1キロそこそこだから、そんなに大変じゃないんですよ。もともと中学校に行くんでね。この後、何年か後にやるんだけどここが1番重要なポイント。だから、タイムスケジュール的にはちょっときついと思うんですよ、この委員会自体。やる事いっぱいあって。

(委員)

二宮金次郎像、どこ持って行くかとかやった方がいいんじゃない。二宮金次郎像3体あるからね。どこ置きましょうかって、やった方がいいんじゃない。

(委員)

あと卒業生のモニュメント。どうするつもりなのかなと思う。すごく心配している。

(委員長)

いろいろと細かいところがいっぱいある。向笠小学校については閉校行事の検討をやって、来年ぐらいから実行委員会をつくって、どう締めくくるかっていう、実動部隊を組織していこうかなと、来年になってからね。と思っているところです。多分似たようなことを、大藤や岩田地区でもやるのではないかなと。いわゆる閉校に向けての話を。その中で、二宮なんかも入ってくるのか、よく分かりませんが。

すいません時間もあれですので、いろいろ細かいところあるんだなということよく分かりました。簡単に通学路のほうに行けないかなと。校歌・校章、通学路は次回にすることと、この辺で皆さんの御意見は、閉めとさせていただきますと思います。

3 連絡事項

(事務局)

次回の開催日時ですが次回は1月下旬を予定しています。時刻はまだ未定ですが場所は西庁舎の三階、302・303会議室を予定しています。正式に開催日時が決まりましたら、開催通知を郵送いたします。

二つ目です。本日御検討いただいた開校準備だよりを、12月、1回目の配付に間に合うように準備をしますので、よろしくお願ひします。

三つ目です。10月に向陽3地区で1回ずつ、実施設計の完了に伴い、設計概要説明会を開かせていただきました。質問事項については設計のものだけではなく、通学やプールの話にも及びました。今後も課題に対しては丁寧に説明をしていきたいと思っています。

今後もよろしくお願いいたします。

四つ目です。通学路に関しては現在の通学路について整備が必要な箇所については、ぜひ保護者から学校へ、学校から学校教育課のほうへ上げていただくようお願いをします。それが一体校への通学路にも影響しますので、よろしくお願いいたします。

(教育長)

各論に入っていくと、いろいろ課題があります。「ながふじ」のときの話も今、出させていただきましたけども、「ながふじ」も、制服だけは、小中で同じものにしましょうという形で、協議をして、豊田東小学校も同じ制服でみたいな、いろいろそういう動きの中で進んでるとか、さっきの何を、新しいところに持っていくのかみたいなところもいろいろ喧々諤々ございましたので、そんなことも含めて、またいろいろ課題が出てくると思います。今、担当から話があったように、通学路のこと、通学方法と、いろんなところで、いろんな御意見を伺ってますので、本当にできるだけという言葉になると思うんですけども、令和8年4月に向けて、子供たち、保護者の皆様、地域の皆様方、前を向けてというんですかね、安心して、とにかく開校できるように行っていきたいと思っておりますので、この場でもいろいろと、これからも御意見いただけると大変ありがたいなと思っております。